

ふじのくに地球環境史ミュージアムでは、展示や教育プログラムの実施だけでなく、高い専門知識を有する研究員による、世界レベルの調査研究活動を行っています。このコーナーでは、インタビューを通じて研究員の仕事や、その素顔を紹介していきます。



学芸課 主任研究員

はやかわ ひろし
早川 宗志

1983年埼玉県生まれ。愛媛大学大学院連合農学研究科(高知大学配属)で博士課程を修了後、農業環境技術研究所、農研機構 中央農業研究センターにおいて水田雑草の防除や里山の生物多様性研究に従事。2018年4月に当館着任。専門は植物分類学。野生植物の形態観察、新分類群の記載、その由来を明らかにするための系統解析を行っている。

アクセス

〒422-8017 静岡県静岡市駿河区大谷5762(旧 静岡南高校)

🚗 自家用車で越越しの場合(ナビでお越しの際は、住所で検索してください)
 ・ 東名高速道路静岡ICから15分
 ・ JR静岡駅から20分
 ・ 駐車場 無料(200台)

🚏 公共交通機関で越越しの場合
 ・ 静岡駅北口バスターミナル
 [8-B乗り場から美和大谷線「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き(約30分)終点下車]

ふじのくに地球環境史ミュージアム NEWS LETTER

発行: ふじのくに地球環境史ミュージアム 企画総務課

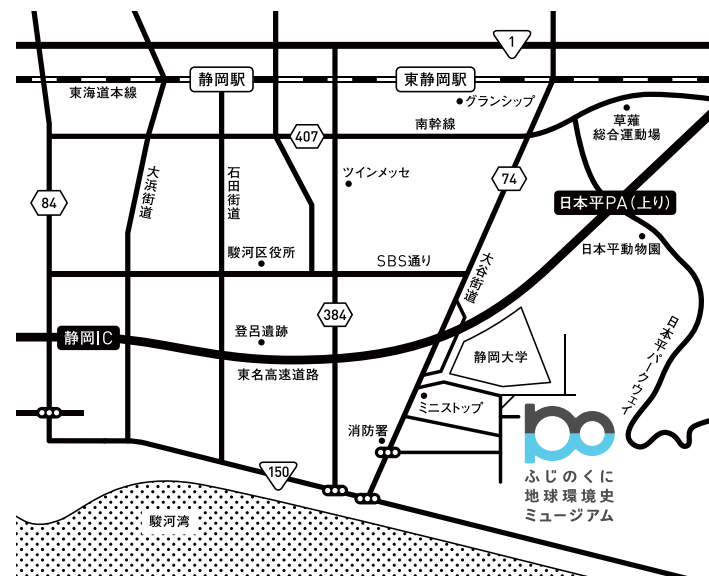
[TEL] 054-260-7111 [FAX] 054-238-5870

[E-mail] info@fujimu100.jp

[ホームページ] www.fujimu100.jp

🐦 https://twitter.com/fujinokuni_NEM

📘 https://www.facebook.com/fujinokuninaturemuseum



百年後の静岡が豊かであるために

NEWS LETTER



ふじのくに地球環境史ミュージアム ニュースレター

☐今年も暑い夏がやってきました ☐企画展・サマーナイトミュージアム・講演会 ☐ミュージアムダイアリー ☐研究員リレーインタビュー

[vol.010]



真夏のミュージアム

今年も暑い夏がやってきました

2018年7月3日、サッカーワールドカップ2018ロシア大会決勝トーナメント一回戦、日本対ベルギーの試合が行われました。格上の相手に対し、あと一歩のところまで迫りましたが、後半アディショナルタイムで決勝点を許し、残念ながら敗れてしまいました。目標としていたベスト8進出は果たせなかったものの、先のラグビーワールドカップに続き、日本が世界を驚かせた出来事となりました。

さて、元祖サッカー王国の静岡県にある、ふじのくに地球環境史ミュージアムは、開館3年目に突入しました。世界的なデザイン賞の受賞、静岡県富士山世界遺産センターと共同での国際シンポジウムの開催、企業とのコラボイベントの実施、学校教育との連携など、活動の幅を広げています。今年度の4月から6月までの来館者数は、昨年度の同時期と比較し、2割増となりました。

国内外で高い評価をいただいている当館は、今年の夏も、皆様を、いや世界を驚かせるような多くのイベントをご用意し、ご来館をお待ちしています。